

「A」次の古語の訳語として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

- 1 ありがたし
①期待はずれだ ②優秀だ ③大切だ ④めったにない
- 2 めでたし
①すばらしい ②奥ゆかしい ③寂しい ④珍しい
- 3 ゆかし
①好ましい ②親しい ③見苦しい ④見たい
- 4 おとなし
①尊大だ ②年配だ ③謙虚だ ④年少だ
- 5 おぼつかなし
①気がかりだ ②みつともない ③不本意だ ④好ましい

「B」次の文の(訳)の「 」に入る語句として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

- 6 雨など降るもをかし。(枕草子)
(訳)「(夏の夜に)雨などが降るのも「 」」。
①趣がある ②滑稽である ③しみじみとする ④感じがよい
- 7 見すべきことありて、呼びにやりたる人の来ぬ、いとくちをし。(枕草子)
(訳)見せようというものがあつて、呼びにやった人が来ないのは、とても「 」」。
①無礼だ ②残念だ ③悔しい ④悲しい
- 8 世を捨てて山に入る人山にてもなほ憂き時はいづちゆくらむ(古今和歌集)
(訳)俗世間を捨てて(出家し)山に入る人は、山においてもやはり「 」時は(今度は)どこへ行くのだろう。
①悲しい ②わびしい ③むなしい ④つらい
- 9 いかでもの越しに対面して、おぼつかなく思ひつめたること、少しはるかさむ。(伊勢物語)
(訳)なんとかして物隔てにでもお目にかかり、「 」思ひ重ねた心の中を、少し晴れやかにしたい。
①人知れず ②待ち遠しく ③苦しんで ④ぼんやりと
- 10 よき人はあやしきことを語らず。(徒然草)
(訳)「 」人は不思議なことは語らない(ものだ)。
①信頼できる ②身分が高く教養のある ③高貴な容貌の ④性格の優しい
- 11 前栽の草木まで、心のままならず作りなせるは、見る目も苦しく、いとわびし。(徒然草)
(訳)庭の植え込みの草や木までも、その自然の趣のままの姿でなく意図的に作り上げているのは、見た目にも不愉快で、たいへん「 」」。
①滑稽だ ②気がかりだ ③興ざめだ ④軽率だ
- 12 大社を移して、めでたく造れり。(徒然草)
(訳)出雲大社の神の分霊を移して、「 」造営してある。
①そっくりに ②立派に ③きらびやかに ④特別に
- 13 そのほかをかしきことも多かりけれども、恐れてこれを申さず。(平家物語)
(訳)そのほか「 」ことが多かったが、(人々は)恐れてそれを申し上げない。
①楽しい ②滑稽な ③変わった ④めでたい
- 14 たまさかに立ち出づるだに、かく思ひのほかなることを見るよと、をかしう思す。(源氏物語)
(訳)たまに出かけてさえ、このように意外なことを目にするよと、(光源氏は忍び歩きを)「 」お思いになる。
①不安だと ②滑稽だと ③むなしく ④おもしろく
- 15 遣戸を荒くたてあくるも、いとあやし。(枕草子)
(訳)引き戸を荒々しくあけたてするの、とても「 」」。
①けしからん ②不思議だ ③照れくさい ④下品だ

